

大谷幼稚園 3月のおたより

「年度末を迎えて」

園長 たなか たかあき
田中 貴章

保護者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。園長の田中です。日頃から保護者の皆さまのご理解やご協力を賜りまして、お陰様で平成28年度も無事に終わりを迎えることができました。本当にありがとうございました。さる14日には、さくら組、きく組のお子さま達が大谷幼稚園を卒園いたしました。卒園児を晴々笑顔で小学校へと見送りましたが、終わってみるとやはり寂しい気持ちになってしまいます。小学校の先生から「大谷幼稚園を卒園した子は挨拶がしっかりできますね」とお褒めの言葉を頂いたことがあります。今回、卒園したお子さま達もそれぞれの小学校で立派に頑張ってくれることとおもっております。卒園児の益々の活躍を職員一同願っております。さて、園では卒園式が終わると、感傷に浸る間もなく新学期の準備に追われる日々を迎えます。進級児のお子さまにおかれましては、いよいよ4月から、年少さんは年中さんに、年中さんは年長さんです。入園式を迎えたのもつい先日のことになってしまうほど1年が過ぎるのを早く感じますね。お子さま達は、この1年の間で様々な面で成長されました。幼稚園教育要領の中には「生きる力」の基礎を育成するために、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域が定められています。これはお子さまの成長を5つの側面からとらえたもので、子どもの育ちを見る窓口になるものです。領域は5つに分かれて示されていますが、実際の幼稚園生活においては5つの側面が絡み合い、それぞれの領域が相互に影響しあいながら、園生活では「生きる力」が育まれてきました。その幼稚園教育要領も現在改定が進められておりますが、園内でも新年度に向けて各学年の活動内容を再度見直し、より良い内容に向けて取り組んでまいります。また、真宗保育のテーマは「共に育ちあう命」です。その一人ひとりの命のかかわりあい、すべての命とつながり合い、共に育ちあっていくことです。ここ大谷幼稚園で出会い、今ここにいることの尊さを感じ、一人ひとりの命のかかわりあい、すべての命とつながり合い、共に育ちあっていくことを園生活全体で味う、そんな1年間にしたいと思っております。最後に、全ての保護者の皆さま、平成28年度も大変お世話になりました。園生活を振り返り、我々職員に至らぬ点多々あったかと存じますが、園運営にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。引き続き平成29年度もご理解、ご協力をお願いをさせていただき、お子さまの最善の為に、保護者の皆さまと共に見守り育んでいきたいと思っております。平成29年度もどうぞ宜しくお願い致します。

